

未成熟そらまめ

農薬取締法上、「未成熟そらまめ」は「そらまめ」とは別の作物である。

「未成熟そらまめ」には、「未成熟そらまめ」「豆類（未成熟）」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

————— 発病・加害時期
 ════════ 発病・加害最盛期

| 作型・病虫害名 | | 月 | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|---|---|----|----|----|---|---|---|---|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 秋 | まき | | | | | | ■ | | | | ● | ▲ | |
| | | | | | | 収穫 | | | | | は種 | 定植 | |
| 赤色斑点病 | さび病 | | | | ══ | ══ | | | | | | | |
| 輪紋病 | ウス病 | | | | ══ | ══ | | | | | | | |
| アブラムシ類 | | | | ══ | ══ | | | | | | | ══ | |

赤色斑点病

留意事項

- SDHI剤(7)、QoI剤(11)は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 収穫後、被害株を集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- ほ場の排水を良くする。
- 密植を避け通風を図る。
- 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ロブラール水和剤 2【1000倍 前日/3回】
 - カンタスドライフロアブル 7【1000倍 前日/3回】
 - ファンタジスタ顆粒水和剤 11【2000倍 前日/3回】

さび病

留意事項

- 高温多雨の年に発生が多い。
- ジマンダイセン水和剤はかぶれに注意する。
- アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。また、QoI剤(11)、SDHI剤(7)は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 収穫後、被害株を集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ジマンダイセン水和剤](#) M3 【400～600倍 30日／3回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2000倍 3日／3回】
 - ・ [アフェットフロアブル](#) 7 【豆類(未成熟、ただし除えだまめ) 2000倍 前日／3回】
 - ・ [オンリーワンフロアブル](#) 3 【4000倍 前日／2回】

輪紋病

留意事項

- 1 ジマンダイセン水和剤はかぶれに注意する。

防除方法

- 1 被害茎葉は早く除き、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 種子は無病株から採種する。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ジマンダイセン水和剤](#) M3 【400～600倍 30日／3回】

ウイルス病

留意事項

- 1 種子、アブラムシ類により伝染する。
- 2 秋期感染による被害が最も大きい。

防除方法

- 1 健全株から採種した種子を用いる。
- 2 苗床は寒冷しゃで被覆する。
- 3 苗床及び本ぼでの発病株は見つけ次第、抜き取り処分する。
- 4 有翅アブラムシ類の防除に努める。(アブラムシ類の項参照)
- 5 除草を徹底する。

アブラムシ類

留意事項

- 1 アドマイヤー1粒剤の成分イミダクロプリドの総使用回数は3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)。
- 2 スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は2回以内。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 シルバーポリフィルムで、マルチングする。
- 2 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) 4 A
【3kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】または
【2g/植穴（但し、6kg/10aまで） 植穴土壌混和 定植時/1回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A 【2000倍 7日/2回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【3000倍 7日/3回】
 - ・ [スミチオン乳剤](#) 1 B 【1000~2000倍 3日/3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。